

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
4	小川 真一 西 志穂	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 チャート基礎からの数学Ⅰ+A, Ⅱ+B 以上 数研出版
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		共通テスト直前実践問題集 数学Ⅰ・A, Ⅱ・B (Learn-S)

◆学習の目標

難関国公立大学（東大・一橋大・京大等）文系の、現役合格を可能にする実力を身に付ける。

◆主な学習内容・方法

- (1) クリアーを使用した入試問題演習を学習の中心とする。
- (2) 必要に応じて、チャート式(参考書)やオリジナル教材を使用して、難関校の問題に対応したレベルの演習を行う。
- (3) 2学期後半は、共通テスト対策演習と入試問題発展演習を行い、難関国公立入試対策演習を総合的に行う。
- (4) 冬季課題として共通テスト対策問題集を課し、徹底的な演習をする。
- (5) 3学期は、大学別の国立2次試験対策の問題を用意して解説及び添削指導を行う。

◆到達目標と評価の観点

〔標準〕 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B」の演習を通して、標準的な入試問題が解ける力を養う。また、共通テストでⅠA・ⅡB共に8割以上の得点を目指す。

〔応用〕 「チャート式」の EXERCISES や総合演習及び難関校向けオリジナル教材の演習を通して発展問題に取り組み、正答を導けるよう論理的な思考力を身に付け、的確に記述する力を養う。

〔評価の観点〕 問題の理解力及び記述力を評価する。

◆評価の方法

定期考査の結果を主たる評価対象とし、授業中の問題演習及び発表（問題の解説）の成果と態度を考慮して付ける。

◆年間予定授業時間

予定時数	1 4 0 時間	1 学期（5 2 時間）	2 学期（5 6 時間）	3 学期（3 2 時間）
------	----------	--------------	--------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- (1) 予習・復習・課題理解の習慣を身に付ける。前もって課題の問題を解き、予習する。授業で解法を理解し、別解や解法のポイントを理解する。
- (2) 問題を解くポイントを習得し、細かい点も含めて、記述解答を丁寧に作るよう心がける。
- (3) 解けなかった問題は解答解説等で理解した後に再度自分の力で解き、実力の定着を目指す。
- (4) なぜその解法を用いるのか、なぜそのような考え方をするのか等、常に「なぜ」を追求する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	クリアー数学演習 Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編	5 2	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試問題演習 次の内容を主とする標準的なレベルの問題を扱う。 整数の性質 場合の数と確率 図形と式 三角関数 微分法と積分法 ベクトル 数列 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの受験生が苦手とする単元であるので、標準的な問題、典型的な問題は確実に解けるようにする。文から条件等の問題解決に必要な公式や定理を見極めることができる。 限られた時間の中で効率よく計算するために、式の特徴を活かして変形するなどの定石の計算手法を使えるようにする。
	5				
	6				
	7				
2 学期	8	クリアー数学演習 Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編	5 6	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試問題演習 次の内容を主としながらも複数の分野が融合されたやや発展的なレベルの問題を扱う。 整数の性質 場合の数と確率 図形と式 三角関数 微分法と積分法 ベクトル 数列 共通テスト対策演習 	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期に身に付けたことを組み合わせて、複数の分野が融合された問題にも活用できるようにする。 答案の作り方にも留意して論理的で丁寧な解答を書くことができる。
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	国立個別試験問題演習	3 2	<ul style="list-style-type: none"> 難関国立大学の入試演習 	<ul style="list-style-type: none"> 志望する国立大学の合格目標点に到達できるための解答と戦略を立てることができる。
	2				
	3				